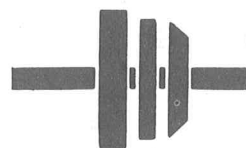


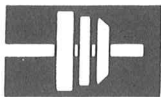
グループ
8
クラッチ

ASTRON



概 要..... 8-2
クラッチ..... 8-4





概 要

概 要

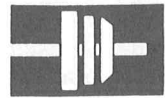
■仕 様

項	目	仕	様	備	考
形 式	乾燥	単板式		
操作方式	油圧	式		
クラッチ ディスク					
フェーシング寸法 (外径 × 内径)	240 × 150	mm		
フェーシング材質	セミ	モールド 又は	ウーブン	
クラッチ ディスクの振れ	0.7	mm	以下	
リベットの沈み限度	0.3	mm	以下	
クラッチ カバー アセンブリ					
形 式	プレッシャ	スプリング	式	
セット荷重	500	kg		



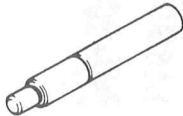
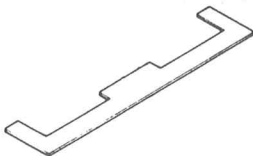
■締付トルク

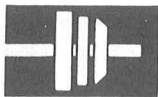
単位 : kgm

締	付	箇	所	ト	ル	ク	備	考
クラッチ	カバー	ボルト	1.5	—	2.2		



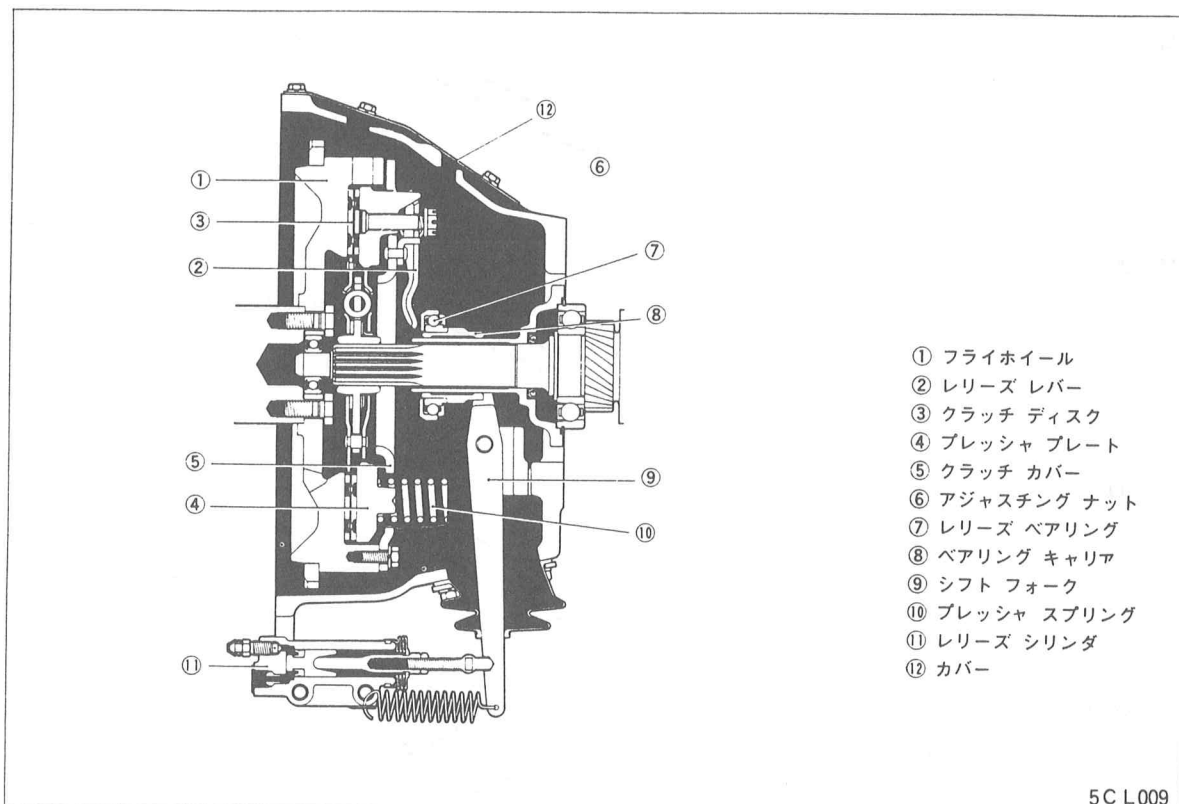
■特殊工具

工 具 番 号	工 具 名 称	略 図	用 途
MD 998229	ロック ピン エクストラクタ		4φ スプリング ピン, ロック ピンの打抜き
MD 998245	ロック ピン インストラ		スプリング ピン, ロック ピンの打込み
MD 998066	クラッチ ディスク センタ ガイド		クラッチ ディスクの位置ぎめ
MD 998228	クラッチ レバー ガイド		クラッチ レバー高さ調整



クラッチ

■構成部品



5CL009

図1 クラッチ

■取りはずし

- トランスミッション アセンブリを取りはずすときは、トランスミッションのアンダ カバー部をトランスミッション ジャッキで確実に支持したのち、エンジンとの結合ボルト(4本)を取りはずす。その後、トランスミッション アセンブリを後方へまっすぐに引いて取りはずす。

-----注 意-----

- トランスミッションを取りはずすときは、ゆすってはならない。
ゆすると、クラッチ ディスクやパイロット ベアリングを損傷する。

- 車載状態でのトランスミッション アセンブリ取りはずしについては、シャシ編整備解説書を参照すること。

- クラッチ カバー 及び ディスクを取りはずすときは、特殊工具クラッチ ディスク センタ ガイド (MD 998066) をフライホイール パイロット ベアリング穴にそう入し、ディスクが脱落しないようにする。
- 特殊工具ロック ピン エクストラクタ (MD 9982 29) を使用してレリーズ フォーク サポート ピン固定用のスプリング ピンを打抜き、サポート ピンを抜きとり、レリーズ フォークを取りはずす。

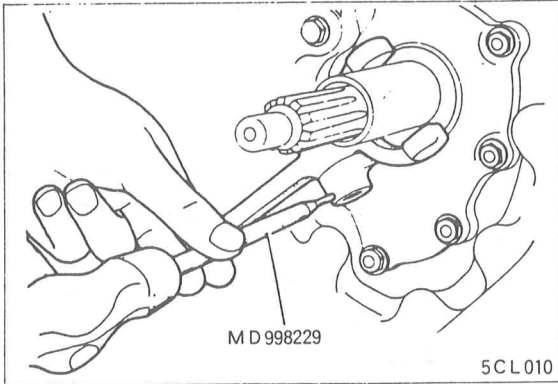
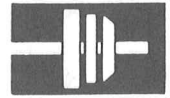


図2 スプリング ピン打抜き

- クラッチ カバーを取りはずす前に、カバーとプレッシャ プレートの適当な箇所合マークをつける。

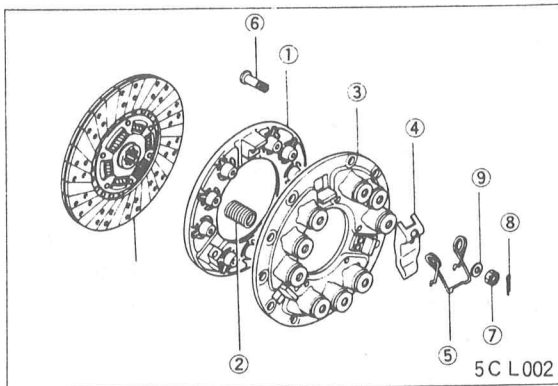


図3 クラッチ カバー アセンブリ

- ① プレッシャ プレート
- ② プレッシャ スプリング
- ③ クラッチ カバー
- ④ レリーズ レバー
- ⑤ リターン スプリング
- ⑥ ボルト
- ⑦ アジャスティング ナット
- ⑧ スプリング ピン
- ⑨ ワッシャ

- スプリット ピンを取りはずしたのち、プレスでクラッチ カバーとプレッシャ プレートを圧縮し、アジャスティング ナット、ワッシャを取りはずし、レリーズ レバーを取りはずす。
- レリーズ シリンダの分解は、ブーツ 及びプッシュ ロッドを取りはずし、レリーズ シリンダ 及びカップを取りだす。

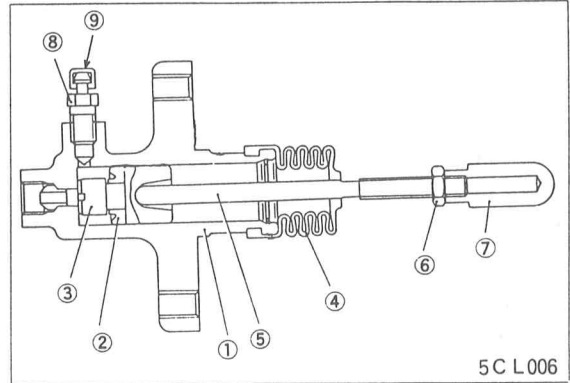


図4 レリーズ シリンダ

- ① シリンダ ボディ
- ② カップ
- ③ ピストン
- ④ ブーツ
- ⑤ プッシュ ロッド^A
- ⑥ ナット
- ⑦ プッシュ ロッド^B
- ⑧ プリーダ プラグ
- ⑨ プラグ キャップ

■ 点 検

1. クラッチ ディスク

- リベットの沈み（フェーシング表面よりリベットの頭までの深さ）を測定し、使用限度以下にフェーシングが摩耗しているもの、あるいはフェーシングに焼損、き裂などが発生しているものはクラッチ ディスクを交換する。

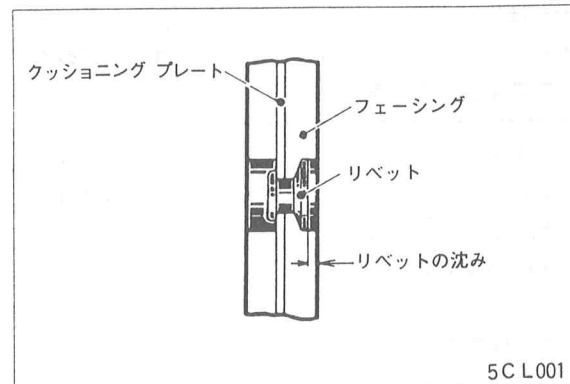
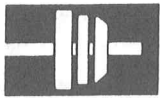


図5 フェーシングの摩耗

- リベットがゆるんでいるものは、クラッチ ディスクを交換する。



リベットがゆるんでいる場合、締め直しても再びゆるんでしまうので、必ずクラッチ ディスクを交換すること。

- トーション スプリング、クッションング プレーットの破損、き裂を点検し、不良品はクラッチ ディスクを交換する。
- クラッチ ディスクをメイン ドライブ ギヤ スプラインに組合せたときの作動具合を点検する。しゅう動がなめらかでないとき、あるいは回転方向の「がた」が大きいときは、クラッチ ディスクあるいは、メイン ドライブ ギヤを交換する。

2. クラッチ カバー アセンブリ

- プレッシャ プレーットのディスク側の面の焼損、条こんの有無を点検し、異常のある場合は修正または交換する。
- クラッチ カバーの損傷あるいは、き裂などを点検し、不良品は交換する。
- レリーズ レバーの各接触面の摩耗、損傷あるいはき裂などの有無を点検し、不良品の場合は交換する。
- プレッシャ スプリングのき裂の有無あるいは、スプリング自由長の不ぞろい等を点検し不良品は交換する

3. レリーズ ベアリング、キャリア 及び レリーズ フォーク

- レリーズ ベアリングは、汚れを拭きとったのち点検を行ない、回転の不円滑な場合、騒音を発する場合は交換する。

-----注 意-----

- レリーズ ベアリングは、グリースが封入してあるので洗油等で洗浄しないこと。

- レリーズ ベアリング キャリヤをトランスミッションのフロント ベアリング リテーナに組付けたとき軽くしゅう動すること。「がた」が大きいときは交換する。
- レリーズ ベアリング キャリヤとレリーズ フォーク接触面の摩耗を点検する。へこんでいるもの、あるいはでこぼこのあるものは交換する。

4. レリーズ シリンダ

- シリンダ ボディの内径及びピストンの外面のさ

び、傷を点検し、シリンダとピストンのすきまが使用限度以上のものは交換する。

- ピストン カップの損傷の有無を点検し、不良品は交換する。

-----注 意-----

- ピストン カップは、分解ごとに交換すればより安全である。
- ピストン カップの洗浄は、アルコールまたはブレーキフルードを使用すること。ガソリンなどで洗浄してはならない。
- ブーツが変形、破損または老化変質しているときは交換する。

■取付け

- (1)レリーズ シリンダの組立は、シリンダ ピストンとピストン カップを組合せる。
- (2)ピストン カップ外周に少量のブレーキフルードを塗布したのち、傷つけないように注意しながらシリンダ ボディにそう入する。
- (3)ブーツ及びプッシュ ロッドを組付ける。
- (4)トランスミッションのフロント ベアリング リテーナ部にクラッチ レリーズ フォークを組付けサポート ピンをそう入し、新品のスプリング ピンを打込む。

-----注 意-----

- スプリング ピンは再使用しないこと。
- サポート ピン中央のみぞ部にグリース(レチナックスA)を充てんすること。

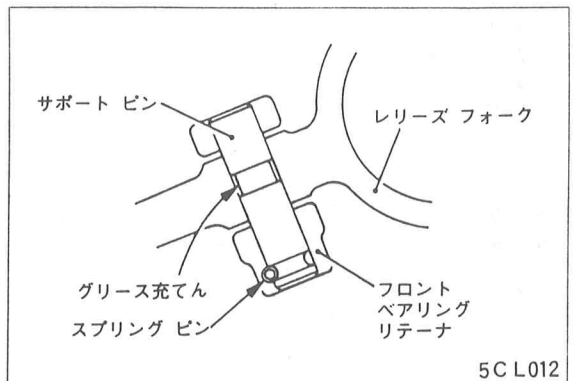
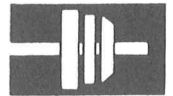


図6 レリーズ フォークの取付け

- (5)レリーズ フォーク カバー及びプレートを取付け、



ボルト（4本）を締付ける。

- (6)前記(1), (2)項で組立てたリリース シリンダ及びリターン スプリング ハンガを取付けボルト（2本）で締付ける。

プッシュ ロッドは、ナットをゆるめ短かくしておくこと。また、プッシュ ロッドのリリース フォーク側先端部及びリリース フォークのプッシュ ロッド穴にグリース（レチナックス A）を塗布すること。

- (7)リターン スプリングを取付ける。

- (8)リリース ベアリング キャリヤの内径みぞにグリース（レチナックス A）を充てんする。また、リリース フォークとの接触面にもグリース（レチナックス A）を薄く塗布する。

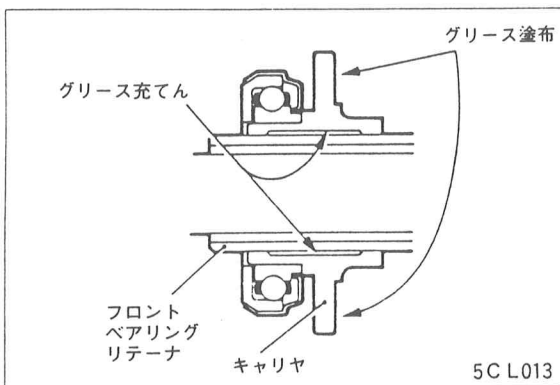


図7 レリース ベアリング及びキャリア取付け

- (9)プレッシャ プレートにボルト（3本）をそう入しプレス台上に置く。
- (10)プレッシャ スプリング（9本）をプレッシャ プレートに組付け、その上から分解時につけた合マークに合わせクラッチ カバーをかぶせる。
- (11)プレスでクラッチ カバーを押さえる。
- (12)リリース レバー及びワッシャを組付け、ナットを取付ける。
- (13)リリース レバー リターン スプリングを取付ける。
- (14)クラッチ ディスクのスプライン及びメイン ドライブ ギヤのスプラインにクラッチ用グリース（モリホワイト TA No.2）を塗布する。
- (15)特殊工具 クラッチ ディスク ガイド（MD 9980 66）を使用してクラッチ ディスクをフライホイールに取付け、位置ぎめ（中心合せ）をする。

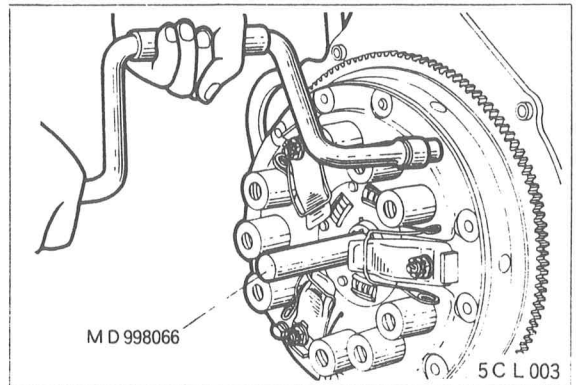


図8 クラッチの取付け

- (16)クラッチ カバー アセンブリをフライホイールのノック ピンに合わせて取付けボルト（10本）を均等に締付ける。

- (17)特殊工具クラッチ レバー ゲージ（MD 998228）を使用してリリース レバーの高さを測定し、アジャスチング ナットで調整する。

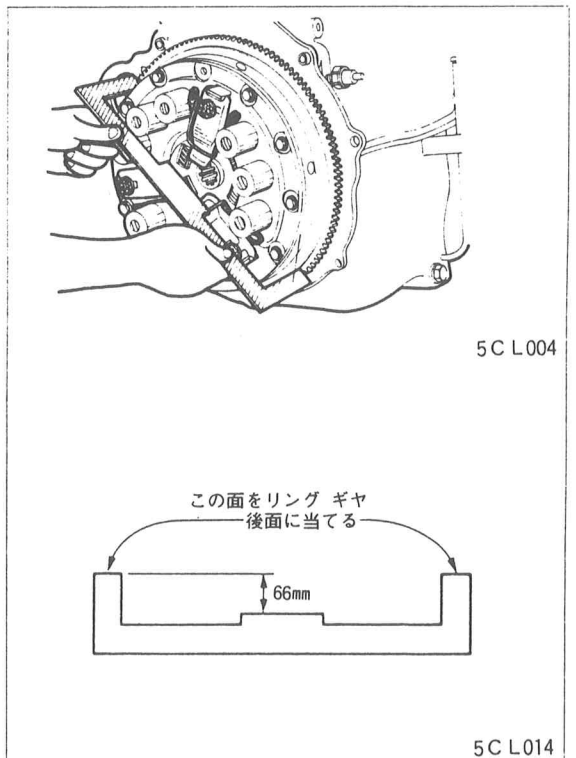


図9 レリース レバー高さの調整

- (18)トランスミッション アセンブリを取付ける。（グループ9 参照）
- (19)リリース シリンダ プッシュ ロッドの遊び（フリー トラベル）を調整する。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.